

チームけせんの和 だより

2021
vol.31
8月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田56（T512-2）TEL 0192-54-3221 FAX 0192-55-5241

「新任会長挨拶」



岩手県立高田病院 院長 田畑 潔

所謂、コロナ禍と言われ出してから1年半以上が過ぎました。この間、医療・福祉分野には大変な負荷がかかり続けています。心身共に疲れてきていますが、ワクチン接種の効果が出るまでもう少しです。倒れないように頑張りましょう。

さて、今年度会長へのご指名を頂きました岩手県立高田病院の田畑です。

「チームけせんの和」の会長は、石木幹人先生、大和田剛史先生、岩井直路先生に次いで4人目となります。

この会が出来たのは東日本大震災の前後だと思います。その頃、陸前高田市内では、高田病院等医療機関と、福祉施設、医療福祉行政、住民参加の健康サークル等との情報交換を行うための顔の見える関係作りは、今ほど盛んではなかったと思われます。そこで地域を支える、今でいうところの地域包括ケアシステムの構築を目指し石木先生を中心に結成されたものであり、陸前高田のみならず、気仙全体の医療・福祉連携を目指すネーミングとなったようです。（誤解があったら、申し訳ありません）実質的に陸前高田市内の集まりとして石木先生を中心に活動していました。

二代目の大和田剛史先生には、“健康で長生きするための口腔環境の改善には歯科医療関係者の関与が必要である”という事を、改めて認識させて頂きました。

岩井直路先生には、“在宅での終末期医療、特にがん関連の医療連携強化”を目指した活動にご尽力いただきました。

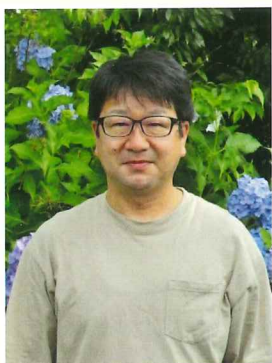
では、先達のご活躍を継いで“私は何をしたら良いのか”と自問しているところです。会の発足当時とは違い、医療・福祉連携を進めるための集まりは、市内だけでも、未来図会議、当院での地域連携会議などがあります。大船渡市（実は気仙広域が対象ですが）は、内閣府地方創生推進事務局が推進した環境未来都市となっており、医療・福祉・介護の先進的連携モデルの構築が謳われています、これが現在では未来かなえ機構へ受け継がれています。また最近では、陸前高田市はSDGs未来都市に選定され“ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり”をキーワードに様々な施策（医療・福祉関連の施策もあります）を進めているところです。

様々な類似の取り組みがある中での当会の立ち位置をもう一度考えてみます。

今までの当会の活動を顧みると、

- 地域で健康に過ごすための啓発動画の作成
- 医療・福祉関連講演会の開催
- 医療・福祉連携のための会議の開催などの事業
- それを支援する行政からの資金の受け皿の機能

等を担ってきております。そこで今後も行政からの支援を継続して頂き、効果的に使用するための仕組みとしての会を、可能な限り継続していく必要があると思います。しかし、私としては“会の存続”そのものが、目的化しては意味が無いと思っています。うまく使って貰ってなんぼ、ですので皆さんからのアイディアよろしくお願いいたします。



「チームけせんの和」に寄せて

小規模多機能ホーム「小百合」 管理者 熊谷 晃喜

熊谷晃喜と申します。

昨年4月から「小百合」に就任し1年以上が経過しました。

以前は「松原指定居宅支援事業所」で勤務しケアマネジャーとして関わらせていただきました。また、「劇団ばば」の寸劇で「塩を減らそう」にも参加させていただきました。DVDもありますので是非ご覧ください。

私が「小百合」へ就任し初めての火災避難訓練の際もご近所からの多くの参加を頂きました。改めて地域の方々と同僚職員に対し感謝申し上げます。

話は変わりますが、ここからは「小百合」についての話をしたいと思います。「小百合」は小友町谷地館地区の住宅地にある古民家を改装し平成20年に開所され、今年で14年目となります。「小百合」の名前の由来は、小友町蛇ヶ崎にある大海洞（だいかいどう）にまつわる古くからのいい伝えで、「小百合」という気だてのいいきれいな漁家の娘が長旅の疲れで病になった武士に深く同情し親身になって手厚い看護・介護したことからとなっております。その後の武士と小百合のふたりは…と話に続きがあり、とても気になるところではありますが詳しくは「気仙風土記：民族百話」に記載されておりますのでご覧いただければと思います。

「小百合」の庭には蔵があり、緑に囲まれた落ち着いた場所となっています。昔ながらの建物は天井が高く梁がむき出しになっている造りのホールのほかに、個室9部屋と畳部屋があります。裏庭には小鳥（シジュウカラ・コガラ）が餌を求めて来ているので、目近に観ることができます。季節の味を大切に地元食材を使用した食事の提供と利用者様の要望に答える食事の提供を行っていて、山菜・海鮮料理のほかに「味噌ラーメン」も好評です。季節のものづくりにも取り組んでいて、先日は「梅干しづくり」や「七夕飾りづくり」を行いました。また、ご近所の方の協力を頂きながら畑づくりも行っていて、現在植えてある「サツマイモ」も順調に育っています。今年は新たな



取り組みとしてプランターを利用した「小玉スイカ栽培」に挑戦しました。

地域との交流活動におきましては現在も自粛した状況が続いておりますが、関係者との継続した連携を図っております。

介護保険サービス内容としては「通い」「泊り」「訪問」の利用がセットになっていて、登録定員定額制になっているのが特徴です。現在は20名くらいの方が利用しております。

介護方針としましては「利用者が自分で行える環境を作ってあげること」目標としております。介護保険の相談についてはいつでも気軽に問い合わせいただければと思います。

最後となりましたが、「チームけせんの和」の関係者の方々にはいつもお世話になっており、ありがとうございます。

今後も変わらぬお付き合いをお願いいたします。

「チームけせんの和」に寄せて

チームとも・いき 西田 邦昭

2011年5月末に初めて陸前高田を訪れました。東日本大震災発生から2か月以上経過していましたが、言葉には表せない壮絶な景色が広がっていました。当時勤務していた立教大学東日本大震災復興支援本部の一員として、その年の夏からガレキ撤去のボランティア、子どもたちとの交流活動、講演会などを定年退職後嘱託で1年残り、2018年3月まで継続しました。陸前高田を訪問した回数は100回近くになると思います。



2018年3月に立教大学を離れましたが、これからは個人的に陸前高田の新しい「まちづくり」を微力ながらお手伝いをしたいと考え、「チームとも・いき」を立ち上げました。活動の目的は次の通りです。

「人と人、団体と団体、地域と地域、人と自然とをつなぎ、『共に学び、共に生きる』関係を創り出し、岩手県陸前高田のまちづくりを支援します」

陸前高田に通いながら、1800人近い人々の命が一瞬にして亡くなったこの町の復興は、「いのちの尊さ」を後世に伝え、そして根本に据えたまちづくりだろう、と漠然と考えていました。そこで、農業を「命を育てる産業」と位置づけ有機農業をまちづくりの柱に据えている山形県高畠町や、公害による水俣病で多くの命を失いながらも現在は「環境都市」として世界から注目を浴びている熊本県水俣市の市民の方々との交流を進めることにしました。高畠町は立教大学在職中からご縁がありました。水俣市は陸前高田ともご縁があり、2018年2月に初めて訪問しました。両市とも数10年という長い時間をかけてまちづくりをして来られています。活動への協力をお願いしたところ、是非協力させていただきたいということで、2018年から陸前高田の市民の方との交流が開始しました。また、2019年からは全国からトランペット奏者に集ってもらい、「響け！希望のトランペット～未来に向けて届けよう！日本そして世界の被災地へ～」と題した演奏会を開催しています。チームけせんの和に参加されている団体は、病で苦しんでいる人たちや不自由な体で困難な状況にいる人たちなどに直接的な支援活動をされています。それらの団体とは明らかに性格が異なっていますが、「チームとも・いき」も大きな意味で命にかかわる活動と自分勝手に判断し、参加させていただいています。今後とも、よろしくお願いいたします。



○陸前高田市地域包括支援センターの事務所が新庁舎に移転しました。

岩手県立高田病院向かいの保健福祉総合センター内に設置されていた事務所が、令和3年5月6日より、市役所新庁舎2階福祉課に移転しました。今後ともよろしくお願いいたします。

◆問い合わせ 陸前高田市地域包括支援センター

住所 029 - 2292

陸前高田市高田町字下和野1番地

代表電話 54 - 2111

FAX 55 - 6118



○運動で認知症予防！DVDの配布について

第一生命様より認知症予防の運動法などを収録したDVDを、陸前高田市に寄贈いただきました。会員の皆様にお配りしますので、各事業所でご活用ください。



● チームけせんの和活動報告

役員会及び総会

令和3年6月15日（火）令和3年度役員会が市役所の交流スペースにて開催されました。令和2年度事業報告及び収支決算報告・令和3年度事業計画案・役員の変更について事務局から提案があり協議しました。

総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため書面決議にて行われ、全て承認されました。

令和3年度 陸前高田の在宅療養を支える会 役員名簿

役 員 名	氏 名	備 考
会 長	田 畑 潔	県立高田病院
副 会 長	吉 田 裕	歯科医師会
	菅原由紀枝	栄養士会
役 員	鵜 浦 章	医師会
	大 坂 敏 夫	薬剤師会
	中 村 利 江	県立高田病院看護科
	戸 羽 久 恵	訪問看護ステーション
	熊谷ひとみ	デ イ サ ー ビ ス
	戸 羽 憲 一	介護支援専門員連絡協議会
	佐々木裕紀重	歯科衛生士会
	草 別 拓 郎	訪問リハビリステーション
監 事	近 江 雅 喜	障害者相談支援専門員
	入澤美紀子	介護老人保健施設
顧 問	柴 田 夕 子	介護支援専門員連絡協議会
	石 木 幹 人	国保広田診療所
事 務 局	大和田剛史	広田歯科医院
	県立高田病院	事務局

編集後記

酷暑という夏も一段落の気配が伺え、ホッとしておりますが、会員の皆様はお元気でお過ごしのことと思います。

さて、新型コロナウイルスの余波で今年度の総会も開催できず、書面決議での承認を頂きました。今後の研修会については、リモート研修の予定としておりますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。